

令和5年度 協働型学校評価の重点目標アンケートのまとめ

仙台市立沖野東小学校

1 調査目的

おきの学園（沖野中学校，沖野小学校，沖野東小学校）では，9年間で育む子供像を「**未来に夢を持ち たくましく生きる 活力ある子供**」とし，学校・家庭・地域が連携して取り組んでいます。それぞれの役割を果たす3校共通の協働型学園重点目標を「**育てよう かかわり合う力 / 育てよう 学びの力 / 育てよう 健やかな心と体**」と定め，その達成に日々努力しています。今年度の協働型学園重点目標について，家庭での達成状況を調査し，今後の活動や取組に反映させていきます。

2 調査対象 仙台市立沖野東小学校 児童及び保護者

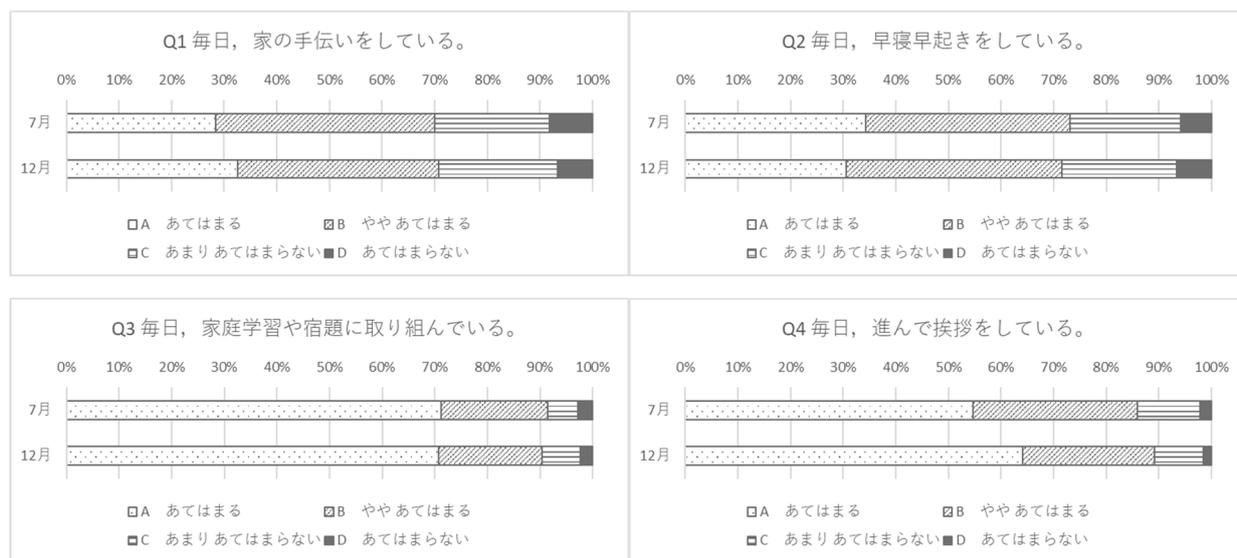
3 実施期間 令和5年12月8日（金）～15日（金）

4 質問項目

7月（児童のみ実施）	12月（児童及び保護者）
毎日，家の手伝いをしている。	毎日，家の手伝いをしている。
毎日，早寝早起きをしている。	毎日，早寝早起きをしている。
毎日，朝ご飯を食べている。	
毎日，家庭学習や宿題に取り組んでいる。	児童は，毎日家庭学習に取り組んでいる。
	児童は，タブレット，ゲーム等のメディアの使い方について，家の人と決めた約束を守っている。
	児童は，地域の行事（ボランティア活動を含む）に参加している。
毎日，進んで挨拶をしている。	児童は，毎日進んで挨拶をしている。

5 集計結果

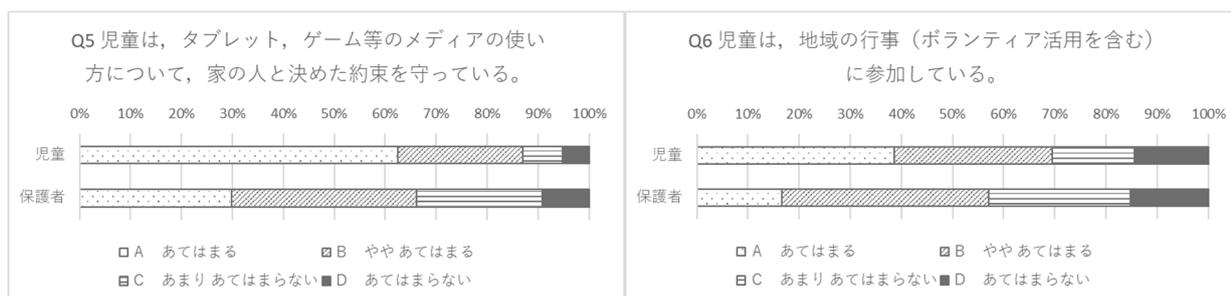
（1）児童アンケート結果の変容から



- 「Q1 手伝い」少し，家庭内でお手伝いしている児童が増えてきました。役割を果たして感謝される経験の繰り返しは，児童の自己有用感の育成につながります。
- 「Q2 早寝早起き」遅刻して登校する子も見られます。しっかり休息を取り，元気に登校することができるよう，今後もお励ましをお願いします。
- 「Q3 家庭学習」9割の児童には学習習慣が付いていると言えます。なかなか改善が見られない児童については，学校で課題に取り組ませるなど工夫しています。
- 「Q4 挨拶」9割に近い児童が進んで挨拶できるようになってきました。学級ごとに行っている「挨拶運動」に加え，年に2回は中学校と合同での「挨拶運動」も実施しています。挨拶を通して温かい関わり合いのできる児童の育成を目指します。

(2) 児童と保護者の結果から

近年特に重点として取り組んでいる事項について、アンケート項目を増やして調査しました。



家庭で取り組んでいることや工夫していること

- できるだけ子どもの話を聞いて、励ます事を心がけている。／わかりやすいような話し方や環境を作るように努力している。／スキンシップ
- YouTube、スマホゲームは時間を決めてやらせている。／ゲームは時間になったらアラームがなるよう設定している。／ゲームはタイマーをつけて行っている。
- ゲーム等ばかりにならないよう、問題などを出しあったりして一緒に遊ぶようにしている。／スポーツ少年団へ入り、精神面も鍛えられています。
- 児童館や地区の催し物や沖父ちゃん会の企画には家族で出るようにしています。母子家庭のためお父さんたちとの繋がりを大切にしていきたいと思っています。たくさんの人と関わることができること、さまざまな経験ができることがありがたいです。
- 平日は母、週末は父が勉強をみています。テスト前は家のドリルで復習しています。
- 基本的な挨拶はしっかり取り組ませている。
- 子どもと散歩に行き危ない場所を注意したりしている。

各ご家庭で工夫をしながら、健全育成に取り組んでいただいていることがうかがえます。

沖野地区は、PTAやおやじの会（沖父ちゃん会）、町内会、体育振興会を中心としたスポーツ少年団、児童館などの地域の取組が盛んな地域です。12月に実施した「おきの学園学校運営協議会」でも、地域の良さを利用しながら、沖野中学校区みんなで子育てしていく環境を大切にしていきたいということが話されました。

学校の取組についてのご意見やご感想・・・たくさんのご意見ご感想ありがとうございました。全てにお答えすることはできませんが、今後の方針についてお伝えします。

情報配信について

学校からの情報発信について、紙からデジタルへの移行期間でもあり、ご迷惑をお掛けしています。

◆デジタルデータの配信について

令和6年度からは、仙台市一斉に「まなびポケット」での出席連絡とデジタルでのデータ配信を取り入れることになっています。「さくら連絡網」から「まなびポケット」への移行を試みていきます。

◆デジタルドリルの活用について

家庭学習の取組について、デジタルドリルを有効活用して紙ドリルの利用を少なくするなど、保護者の負担軽減に取り組んでいく考えです。授業中や家庭学習でのデジタルドリル活用を進め、児童に力が付く学習の方法について検討していきます。

◆ホームページの活用

本校のブログを活用し、児童の様子をご覧いただく工夫を継続していきます。今年度末までに、新システムに移行する予定です。

児童への指導について

児童や保護者の思いに寄り添いながら、その子に合った学習への取り組み方を検討し、対応してきました。お困りのことについては、担任はもちろん、生徒指導担当や養護教諭、教頭までご相談ください。

沖野東小学校のルールについては、「沖東スタンダード」として4月に配付しています。朝会などの機会を使って児童に指導しています。中学校区で情報を共有しながら、ルールの見直しをしていきます。

PTA活動について

PTA活動については、負担軽減など時代に合わせた運営の仕方を見直しているところです。運営委員会等で検討していくことができるよう、PTA本部と情報を共有していきます。